

留 学 報 告 書

記入日：2013年5月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	サザンイリノイ大学カーボンデール校 Southern Illinois University, Carbondale
留学期間	2011年8月～2012年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	College of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2012年5月31日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月下旬～12月初旬 2学期：1月中旬～5月初旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学の為
宿舍費		900,000円	
食費		0円	寮費に含む
図書費		100,000円	
学用品費		100,000円	
教養娯楽費		200,000円	
被服費		50,000円	
医療費		0円	保険加入の為
保険費		120,000円	形態：学校指定
渡航旅費		200,000円	
雑費		100,000円	予防接種・VISA等
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,770,000円	

渡航関連

渡航経路: シンガポール航空 (SQ12) 成田 (NRT) → ロサンゼルス (LAX) → サンディエゴ (SAN) → デンバー (DEN) → セントルイス (STL)

シンガポール航空 (SQ11) シカゴ (ORD) → LAS (ラスベガス) / LAX → NRT

行きは友達のいるサンディエゴに寄るため、最寄りのシカゴやセントルイス直行ではなく LAX 経由にしました。LAX からサンディエゴまでは Amtrak (特急電車みたいな) に乗り、数日滞在した後、SAN から DEN 経由で STL へ行きました。今思うと、STL ではなく ORD 経由でカーボンデールに行くのも良かったなあと思っています。ガイドンスまで時間があるならばシカゴで数日滞在したのち大学入りするのもお勧めです。帰りは Amtrak でシカゴまで出た後、ORD から LAS へ行き、最後のアメリカ旅行をラスベガスで満喫しました。ラスベガスから LAX までは車で移動しまして、LAX から NRT の飛行機に乗り帰国しました。

シンガポール航空は機材も新しく、ご飯も美味しいのでお勧めです。笑

渡航費用

チケットの種類

往路 約 7 万円

復路 約 7 万円

合計 15 万円程度

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

航空券を購入したのは Expedia.com とシンガポール航空公式 HP です。

行きの飛行機は時間的にあまり余裕がなかったために若干割高に感じました。

帰りの飛行機に関しては、1 月中に航空券を購入したため、比較的安く購入することができました。

行きの飛行機は Expedia で、帰りの飛行機はシンガポール航空の HP で直接購入しました。

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

大学寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋 (同居人数 2)

3) 住居を探した方法:

大学から受け入れ通知が来ると同時に寮の案内が来ます。

4) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学生はほとんど NELLY HALL と呼ばれる 17 階立ての学生寮に入ります。

寮には新一年生が多くいるので非常に賑やかです。世界各国から来る留学生のほとんどもこちらの Neely に入るので (しかも留学生同士で同じフロアに固められる) 留学生同士の交流も盛んで、同じ留学生として来ている学生と多く友達になることが出来ました。

部屋は 1 人部屋と 2 人部屋が、入寮の書類提出時に自分で決めることが出来ます。自分は 2 人部屋を洗濯したのですが、最初のルームメイトとあんまり馴染めず、新学期で部屋を変えて新しいルームメイトに変えました。このように、もし 2 人部屋を選択して、ルームメイトとうまく行かない場合でも Housing Office に行っても部屋やルームメイトを変える事も出来ます。いいルームメイトに当たるかどうかはもう運です。いいルームメイトならば 1 年一緒に暮らせばいいし、ダメだったらもう 1 ヶ月しないうちに変えてもいいのです。我慢する必要なしです。

部屋にはベッド、クローゼット、タンスがそれぞれ 2 つと、洗面台が 1 つ、トイレとシャワー (隣の部屋と共用で使用) があります。毎年補修したりペンキを塗ったりしているらしく、建物自体は古いのですが、綺麗な状態で使うことが出来ます。

2 階～4 階は 21 歳以上専用のフロア、5 階以降は年齢制限の無いフロアとなります。もしあなたが 21 歳以上ならば、専用フロアに入るかもしれません (自分は 21 歳だったのに 11 階でした)。印象としては年齢制限の無いフロアはいつも賑やかですね。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：明治から保険に加入して渡米しました。本当は明治で保険に入っているのですが、取り消すのをすっかり忘れていて結局保険にダブルで加入しているという無駄な事をしてしまいました。保険料の返金は学期が始まって数週間で締め切られてしまうので、Office でちゃんと確認して手続きすると無駄なお金を使わないで済みます。
なぜか食中毒にかかり、大学内にある Student Health Center (きつとオリエンテーションで採血するであろう場所) へ行って診察、薬を処方してもらいました。ここを利用するときは事前に予約が必要なのですが、自分は当時急患であったため予約せずに診察してもらいました。施設の中に病院と薬局が併設しているので便利でした。アメリカへ来て検便した留学生はそういないでしょう。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生を主に扱う所が ISS Office と呼ばれる所で、留学中に起こる問題や相談などはこちらへ。またカウンセリングが必要な場合は、別途カウンセリングを専用とする窓口がありますのでそちらを利用してはどうでしょうか。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

現地にほんの数の日本人学生と、日本人会があるのでそこでまずは情報収集しました。夜遅くに一人なるべく外出しないことや、夜は明るい道なるべく選ぶなど、自分なりに防犯対策をしていました。キャンパス内は警察が常時パトロールしているみたいなのでそこまで怖くありません。ストリップと呼ばれるメインストリートはたまに浮浪者がいたりするので気をつけてください。しかし大学生街であるので治安はそこまで悪いということではありません。

4) パソコン、携帯電話、インターネット (接続について) 現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは、一般学生が入寮するまでは使えないので、きつと早く寮に入寮する人はしばらくインターネットが使えないでしょう。一般学生が入寮する頃には部屋でwifiが使えます。速度もそこそこで接続も良好です。もしパソコンが調子悪くなったり、インターネットが使えなくなっても、パソコン専用の窓口に持っていけば治してくれるので安心して下さい。

寮のみならず、大学のキャンパスにある建物内ではwifiが網羅してあるので様々な所でネットに接続できますし、至る所にデスクトップのパソコンもありますので、学生はそれらを自由に使うことができます。携帯電話は、日本で友達にアメリカで使えるiPhoneをもらっていたので、それを使っていました。自分はVerizonを携帯会社として使っていました。自前iPhone利用、国内通話無制限、text無制限、インターネットが月2GBまでで\$100(当時1ドル76円)前後でした。日本とあまり大差ない感じでした。契約には社会保障番号か、アメリカで作ったクレジットカードの利用履歴が必要となるのですが、アメリカ国民でなく、こういった物を持っていない場合はデポジットを支払えば契約させてくれます。自分の場合は\$500でした。これはデポジットであるので解約後に返金してくれます。もし携帯にそこまで固執しないのであれば、安く売ってる携帯(電話とメールのみ)でプリペイドで利用もできます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

資金は主に、キャッシュパスポート、クレジットカード、シティバンクの3つを利用していました。キャッシュパスポートは明治から進められて加盟したもので、近くのATMでお金が下ろせたり、クレジットやデビットが使えたりと便利な一面、無記名のカードであるので稀に使えないことがありました。またこのデメリットとしては入金から実際に使えるまでに数日のタイムラグがあることです。急にお金が必要になって親に入金をお願いしても速攻使えるというものではないので、その部分が少し不便な所でした。クレジットカードは自分が日本で使っていたものを使いました。VISAとJCBの二枚あったのですが、やはりJCBが使えない所が多かったので、VISAは大変重宝しました。VISAとMasterCardを持っていれば敵なしです。

シティバンクはキャッシュパスポートの補完的な役割として使用していました。Citibankのいい所は、キャッシュカードを複数枚持つことが出来るので、自分と親がそれぞれキャッシュカードを持ち、1つの口座を共有できるという点です。Citibankは日本の銀行は勿論、セブンイレブンのATMでも入金が可能で、急に現金が必要になった場合、親に電話してすぐに入金してもらい、お金を引き出していました。キャッシュパスポートに比べてタイムラグがほとんど無いのがCitibankの強みです。

他の留学生はカーボンデールの銀行で口座を開設していたようですが、留学終了後の手続き等が面倒だと感じたので、アメリカでは口座を持ちませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

モチベーションを上げるための物(書籍など)・薬・辞書・取る予定の授業に関係する本やプリントなど

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他：

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

インターネットでは主にマイナビ・リクナビを利用していました。
学内セミナーでは一度に多くの企業から話を聞け、更に社員の方との距離が近いのでお薦めです。自分の内定先も学内セミナーで出会った企業でした。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

月桂冠(内定後辞退)

日本車輛製造株式会社(入社決定)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

とりあえず留学中は就活の事なんて考えずに、毎日楽しく充実させてください。就職活動に関しては日本に帰ってきてから考えても十分間に合います。が、日々留学生活を送る中で、こういったことが楽しいとか、一生懸命できるだとか、自分の気持ちに敏感になってどこかに書き留めていれば就活中に使えると思います。

日本に帰国して就職活動をしますが、一年間外国で生き抜いたということに自信をもって、自分が今後社会に出て留学経験を活かしてどんな仕事をしたいかしっかり考えれば大丈夫だと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 16 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
LING100 Speak/Listen in ESL	
科目設置学部・研究科	
履修期間	Fall 2011
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	グループワークがメイン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 5 回
担当教授	
授業内容	英語を第二言語とする学生が集まって行う授業。この授業では主にリスニングとスピーキングが中心でした。
試験・課題など	たまに宿題がある程度。試験は無く、出席率と授業の積極性で評価
感想を自由記入	留学生のみで構成される授業なので、色々な国の人が多くいて楽しかったし友達になることができた。毎日授業があるのは大変だったけど、今ではいい思い出。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Introduction to Management			
科目設置学部・研究科	College of Business		
履修期間	Fall 2011		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Charles Stubbart		
授業内容	マネジメントの基礎を学ぶ授業。週三回授業があり、毎週 Quiz と小テストをオンラインで提出する。		
試験・課題など	出席率と毎週の小テストの点数で規定以上の合計点数であった学生は期末試験免除。課題は毎週 Quiz と小テスト。		
感想を自由記入	マクドナルドやスターバックスを始めアメリカの様々な有名企業をケーススタディーとして取り上げてくれるので毎回興味深い授業でした。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Marketing Management			
科目設置学部・研究科	College of Business		
履修期間	Fall 2011		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Mavis Adjei		
授業内容	マーケティングの基礎を学ぶ授業。 リテール戦略や価格戦略・ブランドイメージなど「モノの売り方」について広く学ぶ事ができる。		
試験・課題など	宿題はたまに出る。中間テストみたいなのが数回と期末試験がある。 テストはすべてマークシートだけどちゃんと勉強しないと点取れません。		
感想を自由記入	先生が College of Business でも人気の先生で、沢山の学生が履修していました。教え方というか、プレゼンテーションが上手で「これがアメリカ流の教え方なのかー」という感じです。授業後にわからない所を質問すれば教えてくれる素敵な先生でした。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Computer Information System			
科目設置学部・研究科	College of Business		
履修期間	Fall 2011		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義とラボ（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Charles Litecky		
授業内容	IT技術が現代のビジネスにどう作用しているのか学ぶ授業。ラボでは実際にパソコンを使ってSAPというビジネスマネジメントソフトウェアの実習を行います。		
試験・課題など	毎回授業中にi-clickerというリモコンみたいなので出席を取り、授業中に数回クイズを行います。期末試験はマークシートで行いますが、これも勉強しないと点数取れません。SAPは少人数で授業するので先生にわからない所を手を上げて聞いて、課題をこなすって感じでした。SAPに関しては毎週課題が出ます。		
感想を自由記入	日本の大学でSAPを実際に触らせてくれる所や授業というのはほとんどないと思うのでごくいい機会だったと思います。こういう風にITで在庫管理とか発注してるんだなと勉強になりました。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
International Business			
科目設置学部・研究科	School of Business		
履修期間	Spring 2012		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Lynette Knowles		
授業内容	国際ビジネス、主に経済や法律に重点を置いた授業。		
試験・課題など	たまにPaperや宿題がある。中間試験が数回と期末試験がある。試験は記述とマークシート両方あって結構難しかった。Paperはテーマに沿ったニュース記事についての要約や意見を書くもの。		
感想を自由記入	先生がすごく良い人で、授業の内容的には難しかったんですが先生のお陰で頑張ることができた感じです。笑 4年生がほとんどで、やはりより専門的な授業な印象です。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Retail Management	
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	Spring 2012
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義・グループワーク（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Mavis Adjei
授業内容	主にサプライチェーンや店舗立地など小売の観点からビジネスを考える授業。授業と平行して、グループワークがあり、アメリカで有名な小売業を比較分析してレポートにまとめクラスに向けて発表したりした。
試験・課題など	小テストが数回と期末試験。それとグループワークでの貢献度で評価。小テストと期末試験はしっかり勉強すればそこまで難しくないと思います。グループワークはちゃんと自分の仕事をやらないと周りに迷惑がかかるしグループ内評価が悪くなってしまいます。
感想を自由記入	本格的なグループワークで最初は少し心配でしたが、リーダーが優しくしっかりとチームの一員として貢献することができたと思います。アメリカ人と働いてこんな感じなのかな、と思った。また内容的にも Walmart と Kmart の比較や、Macy's と Dillard's の比較など興味深いものでした。プレゼンは緊張しましたが今となってはいい思い出です。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
International Marketing	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	Spring 2012
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義・グループワーク（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Carolin Azab
授業内容	国際的なマーケティングに関する授業。 世界でどうブランドが確立し、人々に認知されるのか、国際的な視点から考えて行く授業。グループワークも実践的で、やりがいのあるものでした。
試験・課題など	Paper やプレゼンテーション、Quiz や授業での積極性、グループワークでの貢献度や完成度など評価ポイントは多岐に渡ります。この授業も日々頑張っ て規定の評価以上取れば期末テスト免除になります。
感想を自由記入	院生と4年生が多い授業でアカデミックでした。特にグループワークではアメリカの実在するイタリアンレストランチェーンをシンガポールに進出させて成功させるにはどうしたらよいかという戦略プランを練り、クラスに向けて発表しました。実践的な授業で面白かったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Personnel Human Resource Management	
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	Spring 2012
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	オンライン（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	主に人事労務に関する授業。オンラインですべて行い、中間期末試験のみ授業に行き受けるというもの。
試験・課題など	毎週授業の動画を一時間程度見て、課題をやり提出という流れ。掲示板があり、他の受講者とディスカッションもしなければならない。課題の評価と各試験の評価で総合的な評価が出る。
感想を自由記入	オンラインの授業に興味があったのと、空き時間を有効に利用したかったのがこの授業を履修しました。最初はあまり人事系に興味はなかったのですが、アメリカの人事について学んで興味が出て来ました。さすがアメリカ、雇用機会も本当にみんな平等なのだと強く実感する授業でした。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2011年 1月～3月	GPAを3.0以上維持しないと留学資格剥奪と聞いていたので一生懸命試験勉強しました。試験後は海外に行ったりアルバイトしたりと普通の長期休暇と変わらない過ごし方をしていました。
4月～7月	震災のせいで前期開始が一月遅れたのですが、あまり影響はなかったと思います。渡米前ということで、授業を人より多く取った結果日々の授業でいっぱいいっぱい、なかなかVISA等の準備がスムーズに行きませんでした。VISAを取ったのも7月中旬というなんともギリギリな時間でしたし、予防接種も本当にギリギリでした。準備はできるだけ余裕をもってやることをお勧めします。
8月～9月	いよいよ渡米して、入寮して授業開始です。環境が大きく変わり、毎日オリエンテーションやキャンパスツアー等で忙しいので体調管理を大切にしていました。オリエンテーション週間にアカデミック・アドバイザーと履修相談をしてどの授業を取るか決めます。それに合わせて教科書等も準備します。
10月～12月	ハロウィンやサンクスギビング・クリスマス等、アメリカにいる事の醍醐味を感じることができる時期です。授業も佳境に入り、11月末からはいよいよテスト週間です。冬休みは寮が閉鎖されるので、冬休み中の計画も立てて準備していました。
2012年 1月～3月	期末テスト終了後からは冬休みです。自分はシカゴとカリフォルニアに行きました。クリスマス間際はホテルが安いので、遠出するならクリスマス周辺がお勧めです。冬休みが終わると1月下旬頃から次の学期が始まります。学期が始まる前にまたアカデミック・アドバイザーと履修相談をして授業を決めます。3月には一週間程度春休みがあり、LAで明治の日本から遊びに来てくれた友達と観光していました。
4月～7月	4月の下旬からテストが始まり、5月第一週目にはほぼテストが終了して、アメリカ大学生生活が終了します。ここでしっかりと成績証明書発行の準備をしておくことをお勧めします。期末試験が終われば長い長い夏休みです。帰国は5月最終日だったので、それまでラスベガスやカリフォルニアを観光したりダラダラして過ごしていました。また4月中旬に食中毒で数日寝込んでいました。急激に気温が上がり、日中は夏のような気温になるので体調管理をしっかりとすることをおすすめします。
8月～9月	帰国後は9月まで夏休みでした。帰国後は就職活動に向けて何をすべきか考えていました。
10月～12月	後期は単位認定が思ったよりも少なかったため、この学期だけで34単位履修しなければならず、日々の授業がすごく大変でした。それに合わせて12月からは就職活動が解禁され、授業と就活のバランスを取るのが大変でした。